

取材授業 於 帝京大学



会社名: テクダイヤ株式会社
名前: 小山真吾氏 (代表取締役)
南谷真緒氏 (広報室)
神宮司瀬里奈氏 (広報室)
取材担当学生: ネイ イキ、ジョ リョウシ、ジュリアン
テー、チョウ エンソウ、チンシネン、リ セイセイ
取材日: 2018 年6月18日

日本人と外国人で求める能力に違いはありますか？

弊社は現在、80名の日本人、11名の外国人社員が在籍していますが、国際競争力のある優秀な人間なら国籍はどこでも構わないという採用方針なので、日本人と外国人で求める能力や業務内容を区別していません。基本的に求めるものは一緒です。ただ、留学生は日本とは全然違う世界の文化・生き方・競争を知っていて、かつ日本人の気持ちも分かるので、その時点で大変なエキストラポイントを持っているわけです。例えば、中国やマレーシアに進出するとしたら、当然日本と向こうではやり方が違います。そんなときに向こうの考え方・やり方・フィールドをよく分かっている人間が仲間にいると、

企業としては大変心強いわけです。日本の社会に馴染むために日本人になろうとする留学生も多いですが、私はそういう方を採用したいとは思いません。留学生は「日本の気持ちも分かるのに日本人ではない」ところが強みだからです。なので、社会に出てもあまり染まらないようにしてもらいたいです。留学生はそういう強みを持っているので、ぜひ自信を持ってください。

入社するまでに留学生が身に付けておくべきことは何でしょうか？

まず、自分の国についてよく勉強しておくこと、日本の文化を自分の国と照らし合わせたらどう見えるかという比較文化も学んでおいたほうがいいかもしれません。ただ、弊社の場合は、そういう質問をされたら「遊んでおいて」と言います。要するに、入社前にセラミックスの勉強なんかをしましょうがないわけです。それだったら今のうちにたっぷり遊んでおいてください。「十分遊んだので、これからは仕事にどっぷり浸かります」と思うのもいいですし、弊社は大都市・東京にあるので、クラブに行つて最新のライティング・音楽・サービスに触れて心を豊かにしてもらいたいです。心が豊かな人はいい仕事をしますし、新しいアイデア・サービスを豊かに見つけるにはさまざまなものに触れて心豊かな時間とれなくなってしまうので、時間

がある今のうちに、どんなに些細な、仕事に無関係と思えるようなことでもいいので、少しでも興味があることにはどんどん触れておいてもらいたいと思います。

留学生はどんな仕事をしていますか？

先ほども言ったように、弊社では留学生であることや国籍によって業務の内容を分けることはしないので、そういう意味でいえば全てです。あまりに馴染んでいるので、そもそも誰が外国人だったか分からないくらいです。「〇〇人だから〇〇語通訳担当」という仕事ではつまらないでしょうし、その人に対して失礼だと思うので、外国人であっても人事・営業・エンジニアなど、幅広く業務を担当してもらっています。

入社後はどんな研修をしていますか？



あなたの、未来
採用情報



まずは社会人マナー、製品知識を学び、ディスカッションやデベートでコミュニケーションの取り方、効果的なものの伝え方なども重点的に学びます。また、研修中は毎朝新聞を読み、1カ月後ほどの程度知識が身に付いたのかテストを行います。これは、1つのニュースが自分たちの会社にとって結び付き、世の中のどういふところが会社の将来に影響してくるのかという、マーケティング思考の基礎をここで身に付けてもらうためです。

外国人を採用するデメリットはありますか？



まず、遠い異国で働くという意味では、会社にとつてのデメリットというより、外国人社員にとつてのデメリットはあると思います。例えば母国に暮らす親が病気になって看護しなければならなくなったら、日本国内ならどうにか通えるかもしれませんが、外国人の場合は会社を辞めざるを得ないでしょう。弊社にとつてのデメリットは、外国人社員にも国際社会にどんどん出て行つてもらうのですが、例えば中国人だとヨーロッパに行くには毎回ビザを取得しなければいけないように、日本人とは異なるさまざまな制約があることが挙げられるかもしれません。先週も「明後日フィリピンに行つてくれ」ということがありましたが、「明日ヨーロッパに行つてくれ」と言つても「中国のパスポートなので明日は難しいです」ということがあるかもしれないことはデメリットです。ただ、企業が生き残るためには進化が必要であり、それには今までと違うこと、新しいアイデア・イノベーションが必要です。それは今までのものをさらに良くしたいと思う気持ち、あるいは、今までのものを疑うところから出てきます。マジORITYではなくマイノリティから起きるわけです。例えば、スマートフォンで成功したのはApple、電気自動車はTeslaというマイナー企業でした。なので、日本人だけで「私もそう思う」と言い合うだけのつまらない会議ではなく、「私はそうは思わない」、「私はこう思う」という人たちと新しいアイデアが生まれる面白く有意義な会議をしたいわけです。先ほどから言っているように、日本人

と考えが異なることはデメリットではなくメリットだと私は考えています。

御社の製品で私たちの生活に身近なものはありますか？

携帯電話の電波塔には弊社の製品が多く入っています。また、弊社の製品が直接中に入っているわけではありませんが、スマートフォンなどは弊社の製品を使って作られています。そこは90%のシェアです。身近なセラミック製品はたくさんありますが、セラミック業界も得意分野はそれぞれなので、弊社の製品は目に見えるものはありません。

取材後のみんなの感想

- 私たちの質問に丁寧に回答してくださってありがとうございました。留学生がすべきことがわかった気がします。
- 留学生は自分の国のことをもっと勉強したほうがいいという言葉が心に残っています。
- 伝統的な製造業ではなく、先端ハイテク加工技術を持っている会社だとわかりました。
- とても勉強になった時間でした。ありがとうございました。
- 外国人として日本企業でどう働くか、わかった気がします。ありがとうございました。